



祝 辞

桜前線も順調に北上し、わずかな春のぬくもりを肌で感じられるようになった今日この頃、新入生の皆さんは、四月三日の入学式を心待ちにされていたことと拝察いたします。

本来であれば、皆さんの前で、在學生を代表して祝辞を述べさせていただくところでしたが、新型コロナウイルスの影響により、入学式は挙行されないこととなりました。皆さんの心中をお察ししますとともに、このような形でお祝いの気持ちをお伝えしなければならないことをたいへん残念に思います。

さて、皆さんは、入学の日をどのような気持ちで迎えられたのでしょうか。新しい生活への期待はもちろん、不安や緊張など様々な気持ちが交錯していることと思います。私も一年前に入学したときは、全く同じ気持ちでした。大学は、高校までとは違い、授業の選択から単位の取得まで、すべて自己責任で行わなくてはなりません。さらに、一人暮らしを始める方も多いと思いますが、日常生活でも生活習慣に気を配り、自立した生活を送らなければなりません。

しかし、私はそのような不安は間もなく解消され、徐々に楽しい学生生活に変わっていきました。「授業の選択から単位の取得まで自己責任」とお話しましたが、それをポジティブにとらえれば「自分で好きな勉強ができる」ということです。今までは決められ学習課程の中で学んでいましたが、大学では自分が興味・関心のあることについて自ら選択し、納得のいくまで学びを深めることができるのです。また、そのような選択の中で出会う友人や先生の存在は、皆さんの一生に大きな影響を与えることと思います。

同様に日常生活についても、積極的に考えれば、「自立して生活していく」ということになり、「自己決定ができる」ということにつながります。北翔大学では、サークルや部活動なども多岐にわたり、ボランティアなどの課外活動もたいへん充実しています。もちろん、アルバイトなども大切な選択であり、自己決定の一つであると私は考えています。

これから待ち受ける様々な経験の中で、時には辛いことや苦しいことに直面することもあると思いますが、それは将来にわたって必ず実を結ぶはずです。私たちは様々なことにチャレンジする皆さんを仲間として応援します。

皆さんにとってこの北翔大学での生活が、充実したものとなりますよう祈念し、祝辞とさせていただきます。

令和二年 四月三日

在學生代表 北翔大学学生自治会
中央執行副委員長 田島 日和

